

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 工業の振興と産学官連携の推進  
 基本事業 産学官連携による技術協力ネットワークの推進

事業名 **江別経済ネットワーク事業**

[0062]

部名	経済部	事業開始年度	平成14年度	実施計画事業認定	対象
課名	商工労働課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 大学、研究機関、企業など経済ネットワークの参加者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 多くの方が参加交流し、産学官のネットワーク構築により共同開発、共同研究でより高度な製品開発に結びつける。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 経済ネットワークの研究会の開催

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	経済ネットワーク参加者数	名	140	193	130	130
対象指標2						
活動指標1	経済ネットワーク例会開催回数	回	6	4	6	6
活動指標2						
成果指標1	研究成果発表会の開催数	数	6	7	6	6
成果指標2	経済ネットワーク例会への団体参加率	%	88	82	80	
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	318	375	319	331
正職員人件費 (B)		千円	8,374	8,358	4,979	2,498
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	8,692	8,733	5,298	2,829

費用内訳	
21年度	旅費 7千円、需用費 262千円、委託料 50千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
根拠は？

経済ネットワークへの費用負担は会場費などすべて参加者の負担で賄っている。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
根拠は？

経済ネットワークの頭脳集積熟度は相当に高い。また、実行力についても行政では及ばないほど自由で闊達である。このことから、目標さえ示せば方法、方策のアイデアが多種多様に出され試行錯誤に対するアレルギーも少ないのでより良い成果品が期待できる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
根拠は？

形式的な数値化されない人間関係で生み出したアイデアが企業の設備投資を促すなど地域ブランド作りへの素地ができ、食品以外の面でも地域の特色ある取り組みが期待できる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小 なし

理由  
根拠は？

平成15年度に3件のプロジェクトから派生したビジネスモデルが平成17年度に事業化への目処が期待されている。また、工業系のプロジェクトも例会で参加企業が発表。  
(ラーメン部会、江別ブランド事典、地上の星（北海道人工衛星ハイパースペクトルカメラの開発、穿孔ロボット開発事例発表、江別ブランドギフト＜江別包＞、マリンアイ、石炭灰50%の新しいれんがの開発、モーションコントロールの開発）  
16年度はこの企画等をホームページに掲載している。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
根拠は？

経済ネットワークは、立ち上げてから受益者負担・補助金利用などでプロジェクトを立ち上げている。これ以上の削減は考えられない。